

司婚のことば

ただ今、仏前に婚儀を挙げるに当たり、新郎○○○さん、新婦○○○さんに申します。あなた方は、今から夫婦として、あたらしい家庭生活を歩み出そうとしておられます。ともに受けがたき人身をうけ、しかも、ここに二人が結ばれることは、まことにかい縁によることであつて、その家庭は、人間としての人生に対する責務を果たすべき、厳粛な場であります。互いに夫となり妻となり、やがて又親となることによつて、人類の歴史を荷負う一員となるのであります。家庭における日常生活の苦樂のなかに、人間としての無限の意味を照らし出すものこそ、み仏の教えであります。なにとぞ念仏生活者として、心身ともに健やかな人生をすごされることを念じてやみません。ここに、二人の誓いを求めます。

—— 二二二で 新郎新婦【誓いのことば】 を読む

今、二人の誓いを得て、一同来会の諸氏と共に、円満な婚儀の成立を認めます。

この上は、今日の感激を忘れず、親鸞聖人のご教化に従い、いよいよ真摯な聞法者となられることを願つて、念珠を授与します。